

# 「東北学術研究インターネットコミュニティ (TOPIC) 秋季研修会」 参加報告

鈴木徹

## 1. はじめに

東北学術研究インターネットコミュニティ (以下、TOPIC と称す) は、東北地区の学術研究・教育活動を支援するコンピュータネットワーク環境の発展に貢献することを目的として東北大学を中心に東北地区の高等教育機関および研究機関が会員となるインターネットコミュニティである。

良く判りづらいと思うが、TOPIC に加盟しているような機関はインターネットというものがまだ一般に身近なものでなかった時代から、グローバルな学術研究のための情報通信ネットワークの利用を必要としており、そのために国が整備した「学術情報ネットワーク (SINET)」を利用することができたが、SINET に接続するためには当時、非常に高価なネットワーク・インフラを必要としたため、それらを保有していた東北大学が東北地区の学術研究機関の SINET 利用に尽力したことを発端に発生したコミュニティであるらしい。「らしい」と言うのは詳しい経緯を当方自身よく知らないためにこのような表現になっていることをお許し願いたい。

このようなコミュニティは、昔は日本中の各地方に存在していたと聞いたが、現在は高等教育機関や研究機関にネットワーク・インフラが整備され、インターネットに接続することが昔ほどコストのかかることではなくなったのでコミュニティの存在意義が失われ消滅していったと聞いた。その中で TOPIC は唯一残っているコミュニティのようだ。なぜ TOPIC が存続し得たのか、と言うと、恐らく他地区のコミュニティに比べ会員相互の繋がりを大切にしてきたからではないかと思っている。

その大切にしてきた繋がりは、春と秋、年に2回研修会を開催して会員同士が顔を合わ

せる機会を密にし、学術研究機関を取り巻く最新の IT トピックについて勉強する機会を設けると共に、親睦を深めてきたからであろう。

毎回の研修会には外部から講師をお招きし、1人1時間余りのご講演をしていただく。研集会終了後も会員同士に加え、民間企業からの参加者を交えた情報交換会も開催される。

今年は東北大学をホスト校として開催された。

## 2. 開催日程

平成27年9月15日(木)～16日(水)

## 3. 参加報告

今回の研修会の講演一覧を以下に示す。

---

・「スーパーコンピュータ SX-ACE を支える施設」

東北大学サイバーサイエンスセンター 情報基盤課共同研究支援係

・「アイルキャッピングとデータセンター等の空調方式・システムのトレンド」

NTTファシリティーズ

・「全国 100 ギガで新たな可能性を拓く次期学術情報基盤」

国立情報学研究所

・「SINET5 移行作業について」

国立情報学研究所

・「UPKI・学認について」

国立情報学研究所

・「HIROINS 2015 のここがポイント!! (仮題)」

弘前大学 総合情報処理センター

・「標的型サイバー攻撃対策について」

マクニカネットワークス

・「セキュリティの新たなアプローチ」

フォーティネットジャパン株式会社

・「解決！？Active!mail を装ったフィッシング  
詐欺」

宮城教育大学

・「WAN 接続回線のトラフィック調査」

東北工業大学 松田 勝敬 氏

・「サイバー空間における脅威の情勢」

東北管区警察局情報通信部情報技術解析課

・「マイナンバー制度の概要と、学術機関の対  
応について」

内閣官房 社会保障改革担当室

---

いずれも粒ぞろいのすばらしい講演ばかりであったが、特に参加者の関心を引いたのが世間的に今年一番の話題と言って良い「標的型サイバー攻撃対策について」と「マイナンバー対応」であった。前者は年金機構や W 大学が標的とされたことで記憶に新しいが、我々が脅威に感じているのは、ほぼ防御手段がない、と言われている点で、講演の中でも同じようなことが話された。

このような有意義な会合であり、派遣していただいたことに感謝申し上げたい。